



「夢の教室」
2022-2023

「JFAこころのプロジェクト」とは

一人でも多くの
子どもたちに、
夢を持つことの
素晴らしさを伝えたい。



いじめや自殺、引きこもり、無気力といった子どもたちに関する
暗いニュースが多く取り上げられていた2006年。
「いま、子どもたちのために、サッカーは何ができるだろう」
そんな思いから、「JFAこころのプロジェクト」は誕生しました。

コンセプトは「夢」。

日本サッカー協会は、「DREAM ～夢があるから強くなる～」という
スローガンを掲げて活動しています。
夢を持つ子どもは、自ら目標に向かって努力し、
仲間を大切にすることができる。
そして、われわれには夢をかなえるために努力し続けてきた仲間がいる。

2007年4月、Jリーグ、なでしこリーグの現役選手やOB／OGなど、
サッカー関係者を夢先生として小学校に派遣し、
「夢を持つことや、その夢に向かって努力することの大切さ」を伝えていく
「夢の教室」がスタートしました。

2007年のスタートから16年、“熱きこころ”を持つ仲間の輪は、
競技、ジャンル、国籍を超え、広がり続けています。

一人でも多くの子どもたちに「夢の教室」を届けたい。

われわれはこれからも、多くの方々の力を借りて、
永続的な「夢の教室」実現に向けて取り組んでいきます。

「夢の教室」カリキュラム紹介

「夢の教室」は「ゲームの時間」と「トークの時間」、そして子どもたちと夢先生がメッセージを交わす「夢シート」で構成されています。

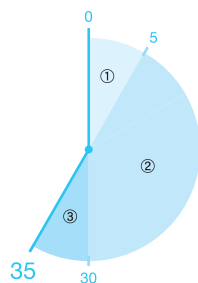
対象：小学5年生・中学2年生 ※原則としてクラス単位で実施します。

ゲームの時間 | 35分 体育館

子どもたちと体を動かし、互いの緊張をほぐしながら、仲間と協力することの大切さ、相手を思いやる心を伝えていきます。



夢先生：田中琴乃（新体操）



（時間配分は目安です）

①自己紹介（5分）

夢先生が自己紹介とこの時間の趣旨説明をします。
夢先生がデモンストレーションを行う場合もあります。

②ゲーム（25分）

緊張している子どもたちの心を解きほぐしながら、仲間と一緒に心と体を温めるゲームや目的を達成するために仲間と協力するゲームを行います。

③まとめ（5分）

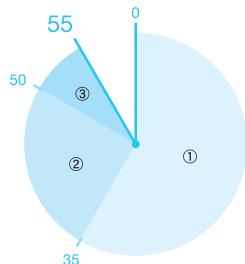
最後に、夢先生が子どもたちにメッセージを伝えます。

トークの時間 | 55分 教室

夢先生の体験談をもとに、夢を持つことの素晴らしさ、それに向かって努力することの大切さを伝えていきます。



夢先生：田中琴乃（新体操）



（時間配分は目安です）

①夢先生の夢トーク（35分）

夢を持ったきっかけや、夢に向かっていく中でどのような困難があり、それをどのように乗り越えたのか。そして、どのようなことが得られたのか。自身の経験をもとに「夢曲線」を黒板に描きながら子どもたちに伝えます。

②みんなの夢（15分）

子どもたちに自身の夢を考え、夢シートに書いてもらいます。
また、可能であれば何人かにその夢を発表してもらいます。

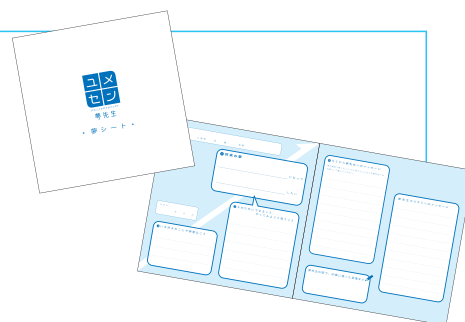
③エンディング&まとめ（5分）

夢先生がこの時間のまとめとして子どもたちにメッセージを伝えます。

夢シート | 後日

子どもたちが記入した夢シートは、後日、夢先生に送付します。
夢シートには、子どもたち一人一人に向けた夢先生の返事とサインが書かれ、授業当日に撮影した記念写真と共に子どもたちの元へ届けられます。

※夢シートの記載内容はP6、7を参照



「夢の教室」実施の流れ

実施前

実施日決定

事前打ち合わせ

授業実施の1週間前を目安に、
電話またはオンラインで
担任の先生と打ち合わせを行います。

授業前のお願い

子どもたちへ夢先生の案内

当日

「夢の教室」

最終打ち合わせ（控室）

ゲームの時間（35分・体育館）

トークの時間（55分・教室）

「夢の教室」オンライン

接続確認・出会いの時間（20分）

トークの時間
（55分）

運営体制

夢先生・アシスタント・ディレクターの3人で授業を実施します。

実施後

授業後のお願い

- 「夢シート」完成
- 「学校事後アンケート」の実施
- JFAこころのプロジェクト推進部へ発送

夢先生による 夢シート記入

夢先生は子どもたちが書いた夢シート一つ一つに目を通し、
サインとメッセージを記入します。

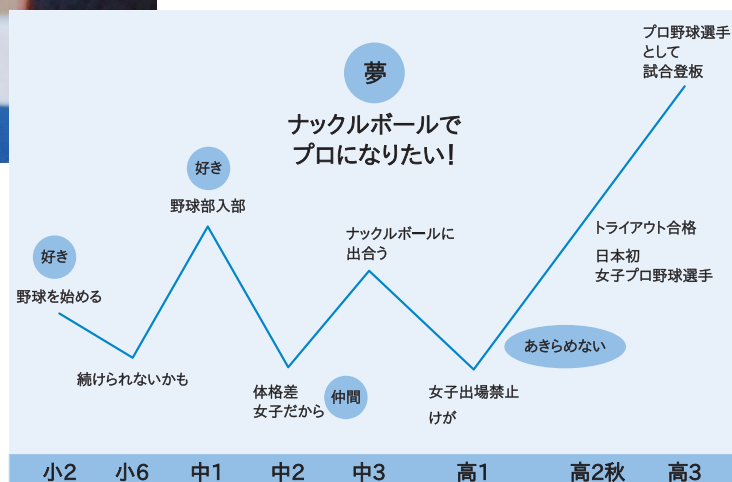
学校に夢シート・写真到着





吉田えり
(野球)

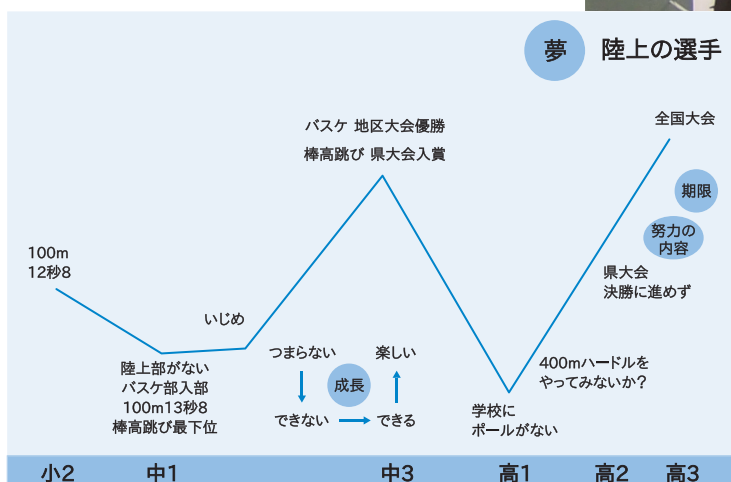
好きなこと、
夢中になれることを見つける
見つけたことを大切にして
あきらめないで



失敗しても途中経過に
すればいい
何回もチャレンジしていれば
それが成長になる



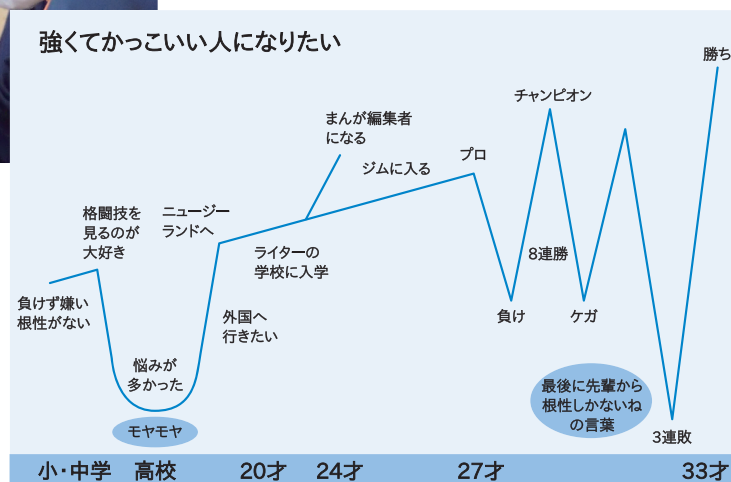
秋本真吾
(陸上競技)



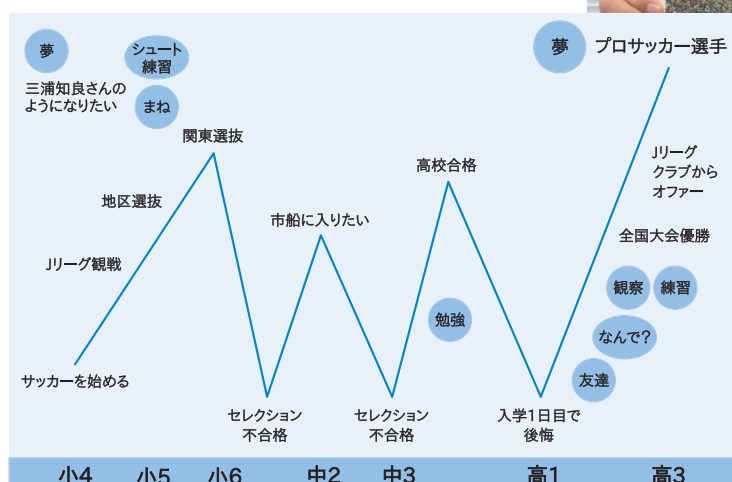


高橋 藍
(シュートボクシング)

どんな人でありたいか



近くの目標に
コツコツ取り組む



増嶋 竜也
(サッカー)

夢シート

夢先生と子どもたちは「夢シート」でメッセージを交わします。

後日、夢先生からの返事を受け取った子どもたちは、あらためて夢について考える時間を持つことができます。

※「夢シート」は夢先生がサインをし、記念写真を添えた形で子どもたちの元へ届けられます。

小学校

小学校 年 組 名前

① 将来の夢

歴史家 になって

有名人に したい

② そのためにできること、
やってみようと思うこと

歴史人物や、歴史にのって
いる物をいっぱい調べ
糸をける。

③ いま好きなことや得意なこと

バレー、歴史を調
べること、ぴぼをす
ること、歴史を授業するこ
と。

今日は、 年 月 日

④ キミから夢先生へのメッセージ

夢の教室で感じたこと、心に残ったことなどを夢先生への
手紙として書いてください。

ぼくは、将来の夢は歴史
家になることです。ぼく
は歴史が好きです。
なぜ歴史が好きかとい
うと、歴史は人物や昔のい
ろんなことを調べるとい
ろんな知識にもつなが
るし、勉強にもなるし、人
物が何をしているのか
も分かるからです。

夢先生の話で、印象に残った言葉など

『当たり前をほめる』という言
葉が印象に残りました。

夢先生からキミへのメッセージ

さん、夢の教室ではありがとう。
最初の出会いの時間に行った...
ゲームやクイズのとき手を挙げてくれ
たり、たくさんリアクションしてくれてい
るのがよく見えていました。嬉しかったです。
さんの夢は歴史家になること
なんだね。とにかく歴史が好きなんだ
ね。すごいなあ!! 僕は学生時代、実は
歴史の授業が苦手な歴史上の人物を
なかなか覚えられなくて、今度、さ
んに教えてもらいたいです!! 好きなことなら
きっと続けられよ!! さんの夢を叶え
られまと思っています。応援しています!!
星奈津美

星奈津美(競泳)



小学校 年 組 名前

① 将来の夢

イラストレーター(絵師) になって

色々な絵をかくてたくさんの人に したい

メッセージをとどこけたい。

② そのためにできること、
やってみようと思うこと

あきらめずに努力して、ひた
すら絵をかく糸をける。
上手な人の絵をよく見たら、
どういったらいいか、どうまくな
れるのかを考え、練習する。

③ いま好きなことや得意なこと

絵をかくこと、ダンスをす
ること、ゲームをすること、
友達と遊ぶこと、図工で
工作をすること、音楽をかくこと

今日は、 年 月 日

④ キミから夢先生へのメッセージ

夢の教室で感じたこと、心に残ったことなどを夢先生への
手紙として書いてください。

私は糸をかくて見てくれた
人をありがとう。色々な絵を
かきたいと思っていますが、
クラスのまだ、僕よりも
上手な人がたくさんいて、どう
夢を目指したいのか迷う
ときがあります。そんなとき、先
生はどのようにしてのりこえ
ますか。今日の授業本当にありが
たかったです。これからがんばる
下です。

夢先生の話で、印象に残った言葉など

苦しい時は夢へ向

夢先生からキミへのメッセージ

さん、メッセージありがとう。
絵師になるって、すごいことなので
そんなに人と比較する必要はない気が
します。さんにしか描けない
個性があるんだと思うよ。だから、
努力は大切。未来の自分の夢を
しっかりとイメージして、今できること
を精一杯にやり続けてみて。人生は
自分の思いで大きく変えることが
できる。先生の話と思い出して
ね。がんばれ!! さん、P

鍋木 毅(トレイルランニング)



中学校



中学校 年 組 名前 年 月 日

1 夢

先生 になって 人になること したい
その夢をもったきっかけ 常に学ぶことを怠らないで、
ある先生に憧れをもったから。(25歳までに)

2 夢のためにやること

未来の自分と想像し
実際の体験すること
聞く。
勉強

3 今の自分

(勉強、部活、悩み、興味のあること、
苦手なこと、頑張っていること等)

野球とバスケットを打つ時
フットボール
毎日勉強

「夢の教室」で感じたこと、心に残ったことなどを
夢先生への手紙として書いてください。

☆ 夢先生へ ☆

今日は夢についてたくさんの方
を教えてもらいました。
自分の中で人生の図を作って
やりたいことに熱中して本気で
やるのが大切だと思いました。
今抱えている夢は、あやふやなもの
が多くて、たくさんの方のアドバイスを
聞くことができませんが、教えてもらった
この話を大切にしたいです。
質問で、強豪校の練習について
思っているモチベーションの上げ方や
やる気の出る言葉、ありがとうございます。

☆ 夢先生からのメッセージ ☆

〇〇さん、自分の人生を
デザインすることはとても大切であ
り、最初から完璧な地図は
作れないと思うので、いろいろ
模索することはいいことだと
先生は考えます。「今」と大切にし
ながら自分が目指すものを
整理することで「夢」への道筋が
見えてきます。人に教えることは
大変ですが、やりがいもたくさんありま
す。モチベーションの上げ方は、辛いストレス
がおおきくなる時こそ成長している時だ
と思うようにしています。やる気が出る
言葉は「モチベーション」と自分に
言い聞かせる！

兵藤慎剛(サッカー)



中学校 年 組 名前 年 月 日

1 夢

料理人・管理栄養士 になって みんなに自分の料理をた したい
その夢をもったきっかけ 小さい頃から料理をするのが好きでよく作っていたから。(27歳までに)

2 夢のためにやること

・本当の料理人の方や管理
栄養士の方とお話する
・たくさん勉強する

3 今の自分

(勉強、部活、悩み、興味のあること、
苦手なこと、頑張っていること等)

・進路をまよっている
・数学が苦手
・家の手伝いを頑張っている
・料理や栄養について興味が
ある

「夢の教室」で感じたこと、心に残ったことなどを
夢先生への手紙として書いてください。

☆ 夢先生へ ☆

斎藤先生のお話を聞いて、本当にここに
いたなと思います。夢に向かって自分
頑張ることができたことに感謝し、
料理や栄養について興味があり、将来は料理
人か管理栄養士になることを目標としていま
す。大人になったら夢に向かって頑張りたい
と思います。そして、今日の先生の前
で、自分の夢を話して、自分自身を
励ましたいと思います。また、斎藤先生の
技術の映像を見て感動しました。あんな
に辛い思いや努力をしたら、その涙が
また、本当に涙が止まらなくなると思
いました。帰ったら親にたくさん話したい
と思います。

☆ 夢先生からのメッセージ ☆

〇〇さん、みんなの前で夢を発表してくれてありが
とう。私は食がたつて身体ができてくると思
い、厳しいトレーニングの時は食事だ
から、〇〇さん夢をもちろ、夢を達成する
料理人や管理栄養士を目指しているかな。〇〇
さんは料理をすることが好きだから、という「自分」
の強さを認めるかな。もちろん、二つが重
なる。自分の強さを認めるから、次に「相手」の
強さを認めることが必要。料理と栄養、二つに
どう関係している？ どんな人に何を話したい？ そんな
ことを想像しながら、〇〇さん、ぜひこのことが
もっと鮮明になると思うよ。もちろん、両方から
なら、可能性はいろいろあると思うから、夢へ
の道を切り開いていってね。応援しています！

ウエイトリフティング 斎藤 里香

齋藤里香(ウエイトリフティング)



☆ 实施自治体 ☆

JFAこころのプロジェクトではより多くの学校で継続的に「夢の教室」を行うために、自治体にて経費をご負担いただいています。

2022年度実施、また2023年度実施予定の自治体は下記の通りです。





東海

静岡県

藤枝市
伊豆の国市
三島市
静岡市

愛知県

小牧市
豊田市
碧南市

三重県

大紀町
志摩市
川越町
紀北町
熊野市

岐阜県

中津川市
土岐市
美濃加茂市
笠松町
八百津町
下呂市

関西

滋賀県

多賀町
長浜市

京都府

八幡市

大阪府

高石市
泉佐野市
田尻町
泉南市

兵庫県

三田市

奈良県

葛城市
王寺町

和歌山県

田辺市
新宮市

中国

鳥取県

鳥取市

島根県

浜田市
益田市
川本町
松江市

岡山県

高梁市
井原市
笠岡市
矢掛町

四国

香川県

三豊市

徳島県

徳島市

愛媛県

松山市

高知県

津野町

九州

佐賀県

みやき町
嬉野市

長崎県

島原市

熊本県

苓北町
長洲町
益城町

大分県

大分市

宮崎県

木城町
都城市
都農町
延岡市

鹿児島県

出水市
指宿市

沖縄県

中城村

「夢の教室」を実施して

埼玉県八潮市

大山忍 市長

八潮市では、「八潮から世界へ」をかがげ、世界へ羽ばたくことができるトップアスリートの発掘・育成につながるような取り組みに力を入れており、子どもたちが夢に向かって目標を持ち、頑張る気持ちを持ってもらいたいという「想い」から、JFAこころのプロジェクト「夢の教室」を実施するに至りました。

夢先生の授業では、これまでの人生で何度も壁にぶつかり、挫折を経験してきたこと、そして、それを乗り越えるために、自分を信じて努力をしてきたことなど、自分の夢を実現するまでのエピソードを子どもたちにわかりやすく、そして熱く話していただきました。夢先生からの夢を追い続ける想いは子どもたちの「こころ」に響き、学校生活でも夢先生の言葉を意識し、自分の夢、そして今自分ができることについて真剣に考え、目標を持って取り組むようになりました。

「夢の教室」で学んだことは、これからも、子どもたちが経験する様々な問題や挫折に直面した時でも、必ずあきらめることなく乗り越え、成功へと導く大きな力となってくれることと思います。

これからも、「夢の教室」が子どもたちに夢を持つことの大切さを伝えていっていただけることを期待しています。



愛知県小牧市

山下史守朗 市長

織田信長が天下統一を目指し、初めて城と城下町を築いた地である小牧市は、その史実を礎に「夢・チャレンジ 始まりの地」として、子どもたちが夢をもち、のびのびと成長できる環境づくりを進めています。市制60周年を迎えた平成27年には「こども夢・チャレンジNo.1都市宣言」を制定しました。「こどもの夢への挑戦をまち全体で応援することで、こどもを中心に世代を越えて市民がつながり、支え合う、すべての市民が暮らしやすい、あたたかいまちになっていくと確信する」というものであります。

この都市宣言の理念を基に提案した構想が認められ、内閣府から令和3年5月に尾張地域で初となる「SDGs未来都市」に選定されております。

小牧市では、平成26年度から小学5年生を対象に「夢の教室」を実施し、今年度で9年目を迎えました。夢先生との出会いに子どもたちが瞳を輝かせ、「仲間がいることを忘れずにがんばっていききたい」「簡単に諦めず粘り強く挑戦したい」といった感想を抱いていることから、自分自身の将来を考え、夢に向かう一歩を力強く踏み出そうとしていることが伝わってきます。今後も「夢の教室」における貴重な出会いが子どもたちの成長へとつながることを期待しています。



支援企業・団体との取り組み

JFAこころのプロジェクト「夢の教室」は、支援企業・団体の皆さまにも支えられて活動しています。

「一人でも多くの子どもたちに夢を持つことの大切さや、それに向かって努力することの大切さを伝えたい」というJFAこころのプロジェクトの思いに共感いただいている支援企業・団体の皆さまの中から11社と共に行った冠授業は、2022年度には171回開催され、全国各地の子どもたちに「夢の教室」を届けることができました。ここでは冠授業にご協力いただいている支援企業の取り組みの一部をご紹介します。

トヨタ自動車株式会社 **TOYOTA**

産学官連携での実施

愛知県豊田市、トヨタ自動車、中京大学、JFAが一体となり、市内小学校59校113クラスの子どもたちに「夢の教室」を届けました。

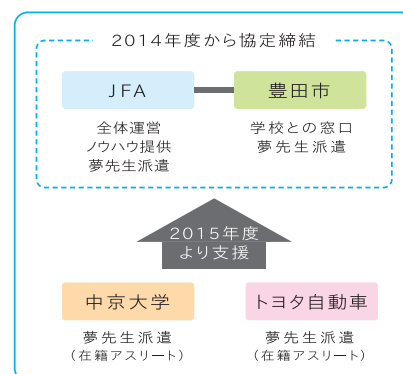


夢先生：深田権太郎（技能五輪選手）



夢先生：峰幸代（ソフトボール）

MIRAIへつなぐ「夢の教室」 in 豊田 運営体制図



株式会社きらぼし銀行 東京きらぼしフィナンシャルグループ

支店を構える神奈川県・東京都内8エリアの小中学校11校21クラスで「夢の教室」を実施しました。



夢先生：松田丈志（競泳）



夢先生：東俊介（ハンドボール）

支援企業との取り組み

象印マホービン株式会社 ZOJIRUSHI

同社による水分補給の啓蒙活動「熱中応援団」とのコラボレーション。「ZOJIRUSHIユメセンサーキット2022」と銘打ち、公募による小学校9校18クラスで「夢の教室」を実施しました。



夢先生：大山加奈（バレーボール）



夢先生：加藤ゆか（競泳）

東京地下鉄株式会社



東京都江東区および千葉縣市川市の東京メトロ沿線エリアの小学校で「夢の教室」を実施。自治体と連携して子どもたちに「夢の教室」を届けています。



夢先生：藤井瑞希（バドミントン）



夢先生：安直樹（車いすフェンシング）

三井不動産株式会社 MITSUI FUDOSAN



三井不動産グループの三井アウトレットパーク札幌北広島、北陸小矢部、幕張の地元にある小中学校6校17クラスで「夢の教室」を実施しました。



夢先生：宮下純一（競泳）



夢先生：山本絵美（サッカー）

auじぶん銀行株式会社 auじぶん銀行

同社のオリジナルコンテンツを活用した「お金の授業」と共に「夢の教室」を実施しました。



夢先生：柴田亜衣（競泳）

サムティ株式会社



同社札幌支店があるエリアの小学校で「夢の教室」を実施しました。



夢先生：伊藤剛臣（ラグビー）

株式会社ジーク



同社メンバーにゆかりのある東京都府中市で「夢の教室」を実施しました。



夢先生：佐藤久佳（競泳）

西鉄旅行株式会社



西鉄グループの西日本鉄道が主体となり、福岡県小郡市で「夢の教室」を実施しました。



夢先生：千葉真子（陸上競技）

ムゲンエステートグループ ムゲンエステート

同社事業所近くの同一小学校で、5年連続となる「夢の教室」を実施しました。



夢先生：太田吉彰（サッカー）

株式会社ローソン



ローソングループの店頭募金などを活用し、全国の小中学校40校87クラスで「夢の教室」を実施しました。



夢先生：石塚晴子（陸上競技）

「夢の教室」を実施して

株式会社きらぼし銀行



米倉晶子
広報部次長

きらぼし銀行は東京都に本店を構える地域金融機関グループとして、地域の未来を担う子どもたちの夢を応援しています。

先日、学校法人玉川学園様において、当行の冠授業としては3年ぶりに対面で「夢の教室」を開催することができました。「ゲームの時間」で次第に生まれる一体感や「トークの時間」で伝えていただいた夢先生の熱い思い、そして何より子どもたちのエネルギーを直に感じる事ができ、対面でのコミュニケーションの素晴らしさを実感しました。オンラインの気軽さや便利さに助けられることが多い毎日ですが、表情の変化や気持ちの高まりが強く感じられるのは対面だからこそ。クラスごとのカラーの違いが面白く、子どもたちの多様な個性にも出会うことができました。

最後に、「夢の教室」を受講した子どもたちが自分の可能性を信じ、夢に向かってチャレンジしてくれることを願うとともに、その夢とチャレンジを心から応援したいと思います。

象印マホービン株式会社



西野尚至
広報部長

象印マホービンでは、2013年から社会貢献活動の一環として、「夢の教室」をサポートしてまいりました。10年目を迎えた2022年度も「ZOJIRUSHIユメセンサーキット」として全国9校で開催。通算で85校、約4700名の児童に参加していただきました。いつも感じるのですが、授業を受ける児童たちの目が輝いていることと、夢の大切さを一所懸命に伝えようとする夢先生の熱意に感動させられます。また、ここ数年はコロナ禍のため、体育館で行う「ゲームの時間」の実施が難しい状況ですが、夢先生をサポートし、児童たちを盛り上げるアシスタントの皆様にもいつも感心させられます。これからも少しでも子どもたちの夢が達成できる一助になれるよう、末永くJFAこころのプロジェクトの活動をサポートし続けていきたいと思っています。

支援企業との取り組み

JFAこころのプロジェクト支援企業

JFAこころのプロジェクトは、下記の企業よりご支援をいただいています。(2023年3月31日現在)



麒麟ホールディングス株式会社



株式会社きらぼし銀行



トヨタ自動車株式会社



株式会社I&S BBDO



アスカ美装株式会社



auじぶん銀行株式会社



MS&ADインシュアランスグループ
ホールディングス株式会社



株式会社クレディセゾン



KDDI株式会社



株式会社Cygames



佐藤工業株式会社



サムティ株式会社



サンメッセ株式会社



株式会社ジーク



積水樹脂株式会社



全日本空輸株式会社



象印マホービン株式会社



株式会社ソディック



大和ハウス工業株式会社



株式会社チュウブ



株式会社TBSテレビ



株式会社テレビ朝日



株式会社電通



TOYO TIRE株式会社



東亜道路工業株式会社



東京地下鉄株式会社



株式会社ナイキジャパン



西川株式会社



西鉄旅行株式会社



日本道路株式会社



日本空港ビルデング株式会社



株式会社野村総合研究所



株式会社フジテレビジョン



株式会社みずほ
フィナンシャルグループ



三井不動産株式会社



ムゲンエステートグループ

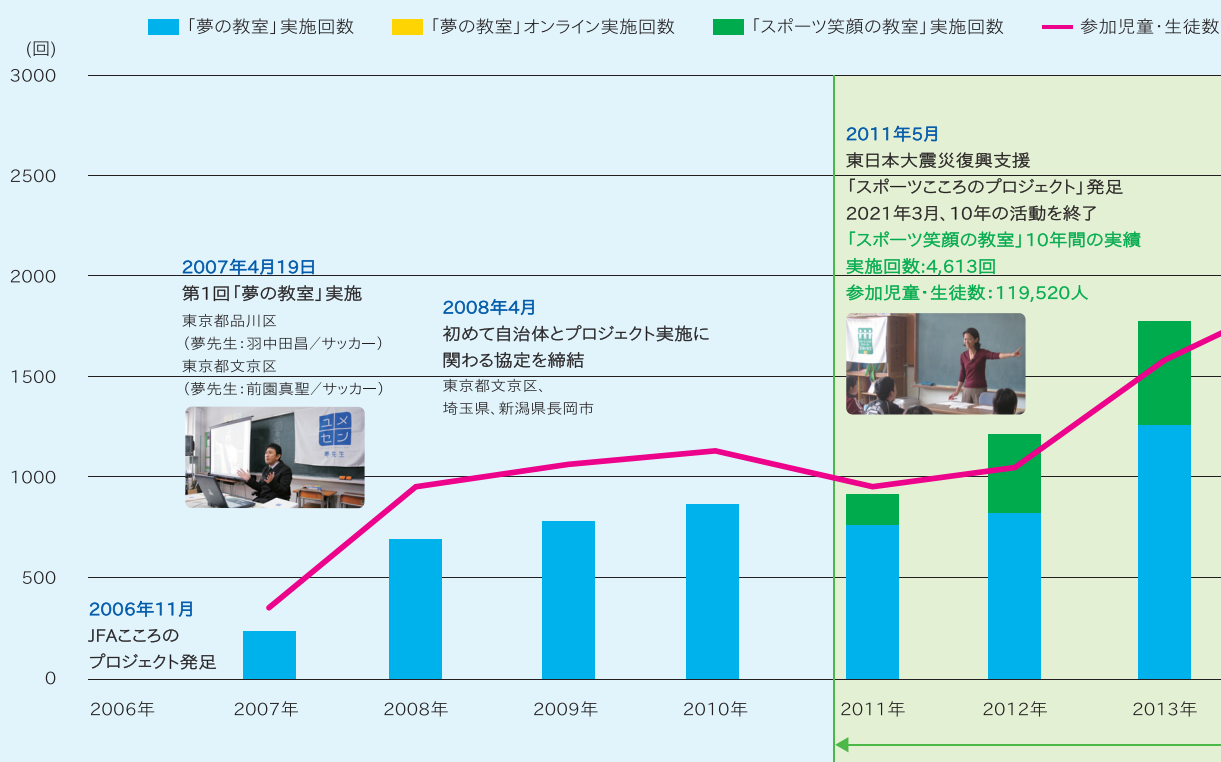


株式会社ローソン

「JFAこころのプロジェクト」16年間の足跡

☆ 16年間の実績 ☆

実施回数	参加児童・生徒数	夢先生
20,291回 47都道府県+海外20地域	607,667人	1,477人



2022年度「夢の教室」 年間実績・活動記録

実施回数

1,547回

参加児童・生徒数

45,224人

2015年11月2日

一般社団法人
日本プロ野球選手会と
「夢の教室」の
共同実施に関わる協定を締結
全12球団の現役プロ野球選手が
夢先生として教壇に立つことが決定



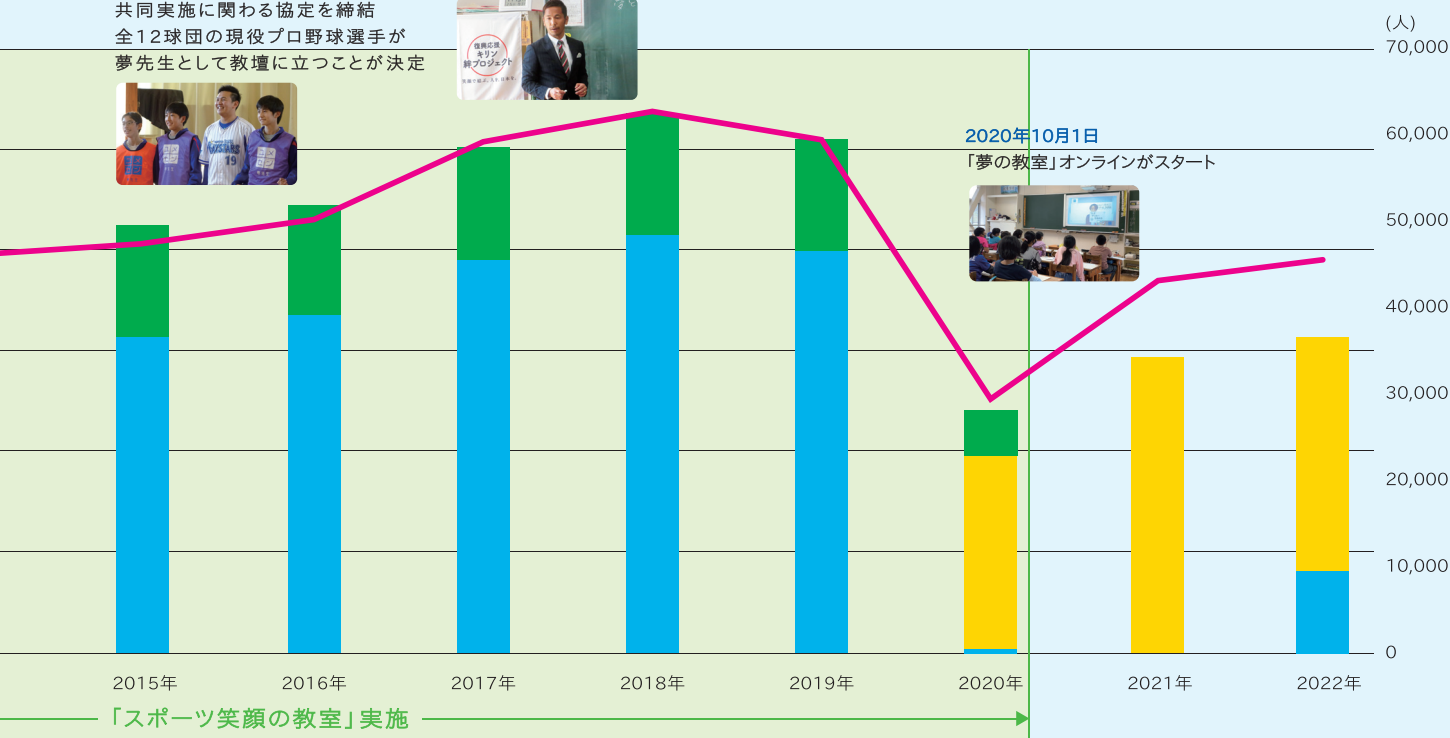
2017年1月～3月

熊本地震で被災した子どもたちの
心と体の元気をサポートすることを目的に
「JFAこころのプロジェクト『夢の教室』
in 熊本 presented by KIRIN」を実施



2020年10月1日

「夢の教室」オンラインがスタート



本プロジェクトにご興味のある皆さまへ

【お問い合わせ先】

公益財団法人日本サッカー協会 JFAこころのプロジェクト推進部

TEL:050-2018-1990 FAX:03-3830-7760



開催希望自治体の方、本プロジェクトへの協賛をご検討の方は、
こちらの資料請求フォームからお問い合わせいただけます。



JFAこころのプロジェクトホームページ
https://www.jfa.jp/social_action_programme/yumesen/

